



岩手県立釜石高等学校

生徒の探究活動紹介

「学び」×「ビンゴ」
ゲームを
子供たちに実施！

「学び」×「ビンゴ」ゲームを子供たちに実施！



11月2日(日)、高校1年生の生徒たちが、「**子どもたちの勉強の集中力**」について探究する中で生まれたオリジナルの学習ゲーム「学ビンGo! (まなびんご)」。

夏に行ったアンケート調査をもとに立てた仮説を、地域イベントで実際に検証しました。

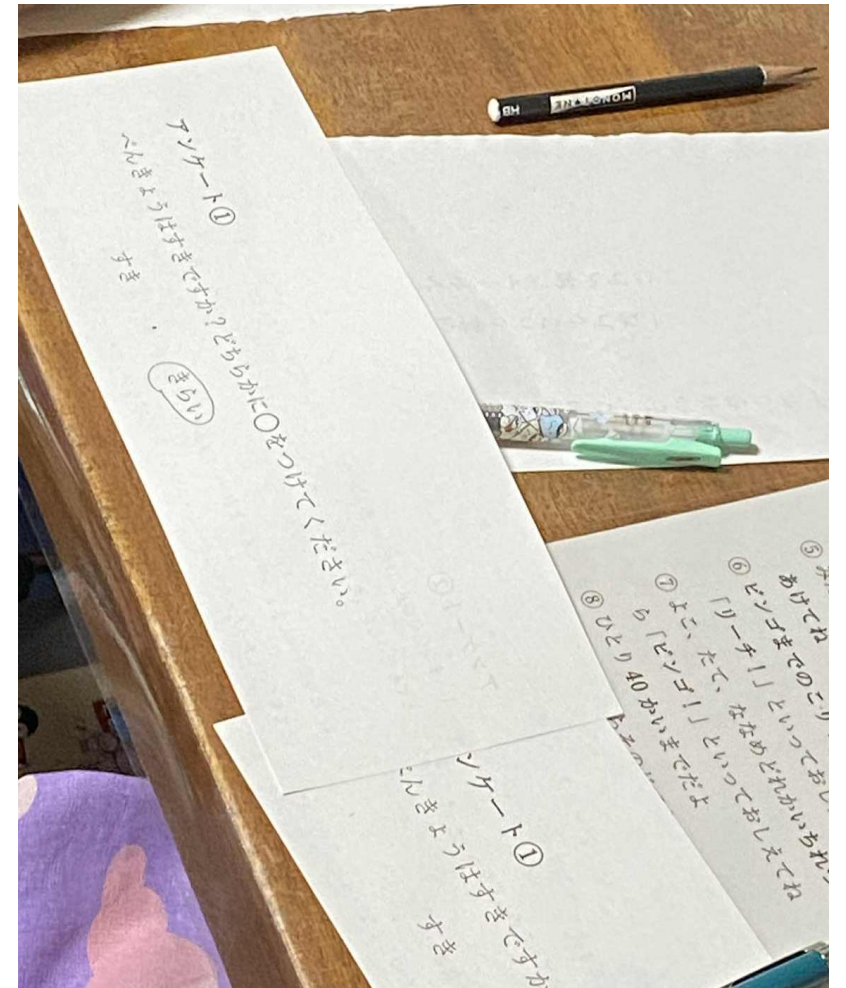
子どもたちの反応を目の当たりにしながら、生徒たちは手応えと新たな学びを得ることができました。

探究のはじまりは「集中力って何だろう？」

高校1年生の生徒たちは、「子どもたちの勉強の集中力」をテーマに探究活動をスタート。

夏には地域の小学校の協力を得てアンケートを実施し、算数が苦手な児童が多いこと、集中力が続かないという声が多く集まりました。

そこで生徒たちは、「遊びと学びを組み合わせたら、もっと楽しく集中して勉強できるのでは？」という仮説を立てました。



実際に取ったアンケート

オリジナルゲーム「学ビンGo!(まなびんご)」誕生！

この仮説から生まれたのが、「学び」と「ビンゴ」を掛け合わせたオリジナルゲーム——「学ビンGo!(まなびんご)」です。

通常のビンゴは、くじで出た番号をそのまま呼びますが、学ビンGo!ではそうはいきません。

「10番！」ではなく、「 $7 + 3$ は？」といった計算問題に正解して初めて、そのマスを開けることができます。

自然と計算力を使う仕組みで、「勉強している」という意識を持たずに学べるよう工夫されています。



地域のイベント「たろんちの駄菓子屋さん」で初披露！



実際に学ビンGo!を披露したのは、「ちゃいんど
&コミュニティカフェ たろんち」で行われた地
域イベント「たろんちの駄菓子屋さん」。

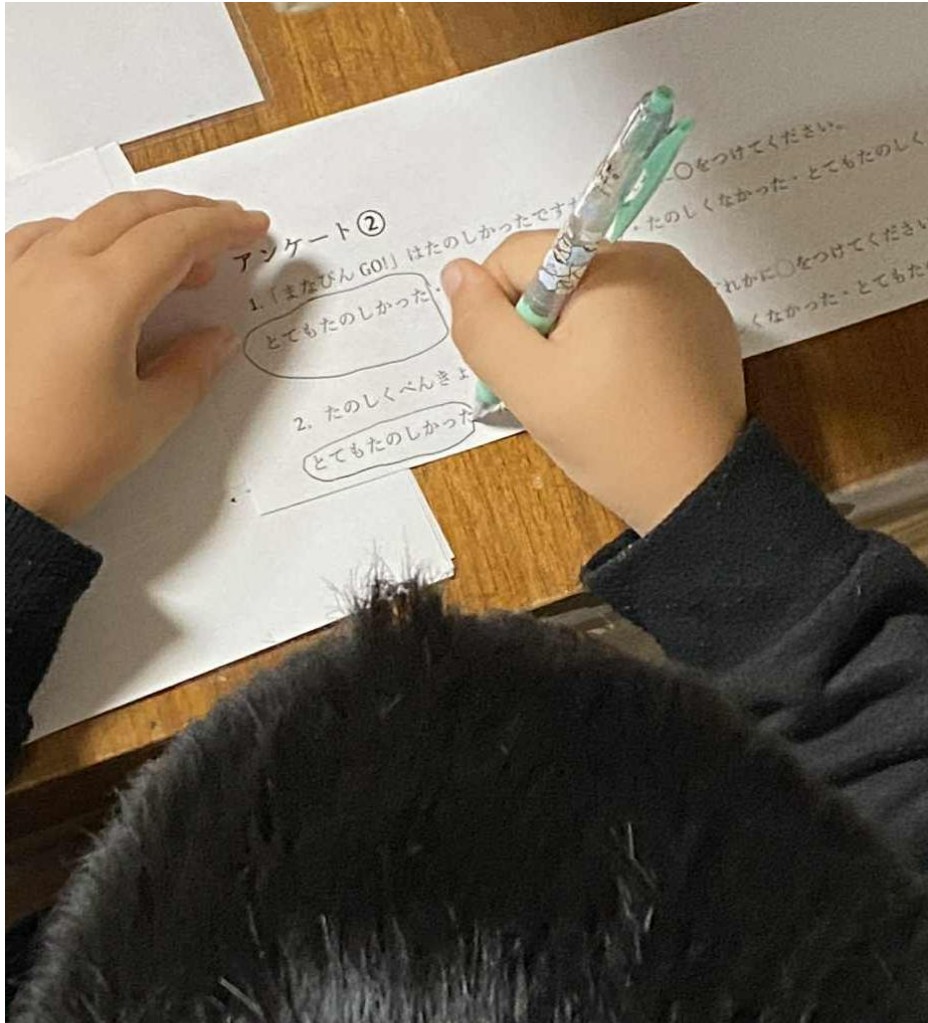
来場した子どもたちは、やきそばやおにぎり、駄
菓子を楽しみながら、ゲームにも参加しました。

問題は全部で40問。

低学年には足し算や引き算、高学年には掛け算
や割り算など、学年に合わせた問題を用意しま
した。

「計算が難しい！」「やったー！ビンゴ！」と、笑
顔いっぱいの声が飛び交い、中には2回、3回と
繰り返し挑戦する子どもたちの姿もありました。

手応えと課題、どちらも収穫に



とても楽しかった！と
アンケートに書いてくれました！！

自分たちが考えたゲームで子どもたちが楽しんでくれたことに、生徒たちは満足げな表情。

一方で、たくさんの来場者に対してゲームの進行が追いつかず、臨機応変に対応することの難しさも感じたようです。

現場での実践は、生徒たちにとって大きな学びの機会となりました。生徒たちはまだ高校1年生。探究活動は始まったばかりです。

今回の経験を通して、自分たちの発想が誰かの笑顔につながることを実感できたのではないのでしょうか。

これからの成長が楽しみです！

今回のイベントの場を提供してくださった「たろんち」の皆さま、ありがとうございました。